

今年一年の旭小学校へのご理解とご協力に感謝申し上げます。新年もよろしくお願ひします。



絶対に戦争をしてはいけない ～12月、花島先生に教わったこと～

校長 半田幸弘

毎年、12月になると思い出すことがある。12月8日の開戦記念日にまつわることである。記念日というと何かよいこと?と考えてしまう方もいるかもしれないが、自分の中では平和を祈念する日と考えている。

4年ほど前、私が中学1年生の時、国語を教えてくれていた花島先生が12月初旬に次のような話をされた。今でいう中学生の頃、東京大空襲(1945年3月10日)があった。東京の下町に住んでいた先生は焼夷弾の降る中、火の海を逃げ、防空壕に入って助かった。火災が落ち着き防空壕から出て見ると、黒焦げの丸太や枝がたくさん転がっていたという。このあたりに森も林もなかったのに何でだろう?と思ってよく見ると、それは黒焦げになった人の身体や手足だった。大きなショックを受けながらも生きていくためには水を探さなければいけない、家族や親戚を探さなければならぬと死体をまたぎながら歩き続けたのだという。

「私はたくさんの死体をまたいで生き残ってきた人間だから言える。あんなことは二度とあってはならない、絶対に戦争をしてはいけない！そんな戦争が始まってしまった日が12月8日なんだよ。」この言葉が40年以上経った私の記憶にもしっかりと残っている。

太平洋戦争後80年、日本が直接に関わった戦争は起きていない。これは戦争で苦労された世代が平和な日本のために努力を重ねてきたからだと私は思っている。

この話を明日の終業式でも話そうと思っている。低学年には難しいかもしれないが、教育基本法第1条(教育の目的)にある「…平和で民主的な国家及び社会の形成者として…」の通り、平和な世界をつくるためには伝えておきたい。何としても、人間が過ちを繰り返さず、目の前のこの子たちが生涯戦争体験することのないようにしなければならない。戦前の日本も現代のウクライナも突然に戦争が市民の前に現れたのである。そのような事態を防ぐために教育の力は大きいと思う。歴史に学ぶことはもちろん、外交のための知識や言語、コミュニケーション能力など様々な力を身に付けなければ戦争を防ぐことはできない。今だけでなく、数十年後の未来を考えた教育を、今、していかなければならないと日々思っている。

食べ物に困らない時代が続きますように

右は読売新聞1面の記事です。食品ロスが騒がれる時代ですが、子どもたちが食べ物に感謝し、食の安定供給が今後も続くことを願っています。



より安全に！

保護者から下校時の校門付近の飛び出しが危険との話がありました。全校集会で児童に注意喚起をすると共に注意掲示を設置。この話を旭小支援隊の方にしたところ、早速、下校時に立って声掛けをしてくれました。感謝！！

4年前に他界した柳家小三治さんで、「卵かけて飯」という伝説のまぐらがある。「食うもののない時代ですね」。戦後まもなくの頃、両親をよく家族7人で二つの卵を分けて食べたという◆「まず、お醤油で量を倍にします。笑わないでくださいよ。ほんとうにやつてたんですから」。七つの茶碗を寄せ、「少しつつ、少しつつですよ、少しつつやらないと、ちよとの差にみんな目え光らせますから」（「ま・く・ら」講談社文庫）◆欠乏の時代のありがたさは、日本人が卵好きになりましたこと無関係ではないだろう。国民一人あたりの消費量3000個にものぼる◆鳥インフルエンザの流行で値の跳ね上がり、「エッグショック」から2年経て、1パック308円（10個入り）と最高値を更新した。鳥インフルに加え、円安による飼料のコスト増がある。もはや「物価の優等生」ではなくなったのかもしれない◆小三治さんは前述のまぐらで、卵をかき回しすぎないでご飯にかけると、黄身と白身の加減で何種類もの味わい方ができ、1個の卵がお得に感じると語っている。がおさめに、やってみますか。

学校評価アンケート12/26〆切。未回答の方は12/9スクリル配信をご覧いただき、ご協力いただけますようお願いします。

旭小のハード面の諸問題について 2 ~いつも心に引っかかっていること~

<その1>トイレ改修問題

旭中に出かけた際、本校より新しいはずの旭中がトイレ改修をやっていた。順番が違うのでは？と市役所担当課に問い合わせたところ、小学校は別ローテーションでやっている、現時点ではR8からR9に改修予定、税収や景気等で予算が削られるなどするとR9かR10になってしまうとのことでした。

<その2>前校舎塗り替え問題

本校外壁は裏校舎が数年前に塗り替えられ、きれいになっています。前校舎が気になるところですが、担当課によるとR10に改修予定。ただし、トイレ同様、予算が削られればできないとのこと。

<その3>校庭南フェンス問題

本校南側フェンスは穴が空いたり、支柱から外れたりしている。以前から市の担当課に改修要望をしているものの、予算の関係でなかなか改善されていない。先日は保護者の方から、フェンスの針金が子供の目に入りそうで危なかった、との話をいただいた。応急処置をした上で、この話を添えて再度担当課に要望した所、担当者が確認に来てくれた。あとは予算があるかないかのことです。

~~~~~  
PTA共催事業 旭小アカデミア計画2025第4弾

## 世界チャンピオンと楽しく体を動かすエアロビ教室

○講師 SKJエアロビックアスリートクラブ所属 斎藤 瑞己 (Saito Mizuki) 先生

### <講師プロフィール>

太田市立西中学校、群馬県立太田東高校、群馬大学卒。



2020年度 SUZUKI JAPAN CUP2020第37回全日本総合エアロビック選手権大会全

国大会男子シングル・優勝（史上初8連覇、ユース時代から含めると13連覇）

2018年度 FIG（国際体操連盟）第15回エアロビック世界選手権大会シニア男子シングル・優勝（2連覇）

・日 時 1月20日(火) 2校時(9:40-10:25) 1, 2年生、3校時(10:50-11:35) 3, 4年生

・対 象 1～6年生(5, 6年生は始めのデモンストレーションのみ見学)

・会 場 体育館(上履きをご持参の上、直接会場にお越しください)

・内 容 ①エアロビの技のデモンストレーション ②ウォーミングアップ

③振り付けの練習 ④発表

・申込み 見学を希望する保護者(お子さんの学年は問いません)は二次元コードからお申し込みください。1/15(木)〆切。

・その他 活動場所確保のため、後方壁際での立見となります。



※本事業の講演費用等はPTA会費から負担しています。PTA会員の皆様、いつもありがとうございます。

### <半田の独り言>

寒くなると給食で大量の牛乳が残る。多い日は12リットル。栄養価を考えた上で出されている牛乳。子どもたちの成長を考えると薬だと思って飲んでほしいものだが、無理強いはできない。その処理に当たり、下水処理業者から牛乳を大量に流すと分解するための浄化槽の負担が大きいので、できれば流さないでほしいと言われたことがある。ではどうしたらよいか、校庭に穴を掘ってそこに流し、浸透させることも考えた。だが、ずっと同じ場所に牛乳を流し続けることは環境的にはよくないであろう。夕方、開封していないものをほしい人に配るのも今時はNGである。何か妙案がないかと思いつつ、大量の牛乳が日々学校から下水に流されている。牛さん、ごめん。

## あいがとうの クリスマスリース

この季節、玄関が華やかです。代表委員会が企画した「あいがとうのクリスマスリース」があるからです。

これには全児童のメッセージ 夕陽を受けるとステンドグラスのように美しい！

よい人間関係作りに欠かせない感謝の心、ご来校の機会がありましたら、保護者の方もぜひご覧ください。

